



小高原小学校の取り組み

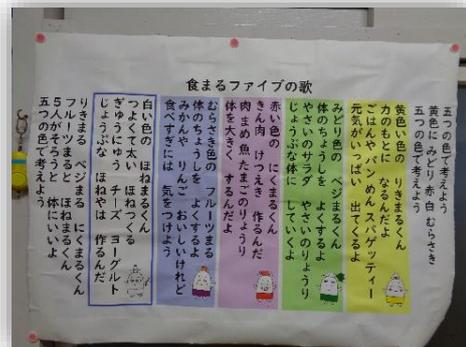


給食委員会での話し合い

毎年小高原小学校では「もぐもぐカード」を実践しています。そんな中、委員会の話し合いで「もぐもぐカードのチェックする項目を変えたい!」という意見がありました。今の自分たちの学校の状態に着目できており、その状態に合った項目にしようとする姿勢が見られて嬉しく思います。今年も給食委員会を中心に学校給食や食育について盛り上げていきたいです。

ある学級の取り組み

2年生の学級では、食まるファイブの歌の歌詞が掲示してありました。食まるファイブの歌の歌詞に目を通すと、食まるファイブたちの役割が分かります。この学級は毎日の給食の献立を、食まるファイブに当てはめている子がいるそうです。是非、みなさんも給食の献立と食まるファイブたちを当てはめてみてください。食事を楽しみながら、食べ物の働きに詳しくなりましょう。



【食まるファイブの歌の歌詞】

給食委員会の取り組み

昨年度は、給食が終わった後に給食の過ごし方について自己評価をする「もぐもぐカード」や、給食中にテレビ放送で行うマナークイズや給食クイズ、食まるファイブの役割説明などを作るなど、たくさんの方の準備してきました。

「給食委員会での話し合い」に記したように、今の学校の状態に子どもたち自身が着目しているからこそ「食まるファイブってみんなきちんと知っているのかな」「コロナ禍から入学した人たちは、なんとなくしか知らないと思うな」という何気ない会話から、食まるファイブの紹介をしようという活動につながりました。また、「食事のマナーは大人になっても大事だから、みんなにマナーを知ってもらおう」と、マナークイズを作るなど、子どもたち自身が考え、企画し、実践する、そんな主体的な姿に感心させられます。

昨年度のうちに考え、準備した企画について、まだ取り組むことができていない企画もあります。今後も、子どもたちが中心となって企画し、今の小高原小学校の状態に合う取組になるよう改善していきたいと思えます。